

KUCA大学院生実験参加者アンケート（実験前）

1. 名前、番号、所属、研究室名、

2. 学部、大学院での研究課題（具体的に決まっていない場合は希望する研究課題）

3. 大学院生の場合 卒業学部等
 - a. 同じ研究室
 - b. 同じ大学の違う研究室（卒論研究課題：
）
 - c. 違う大学（卒論研究課題：
）

4. この学生実験に参加した理由
 - a. 自ら希望して
 - b. 教官、先輩などに勧められて
 - c. 仕方が無く
 - d. その他（
）

5. 放射線に関する知識は
 - a. 講義を受け、卒業研究等で利用している（or していた）
 - b. 講義を受け、ある程度知っている
 - c. 講義は受けたがよくわからない
 - d. わからない

6. 炉物理に関する知識は
 - a. 講義を受け、卒業研究等で研究している（or していた）
 - b. 講義を受け、ある程度知っている
 - c. 講義は受けたがよくわからない
 - d. わからない

7. この学生実験に期待すること（いくつでも）
 - a. 原子炉についての理解を深めたい
 - b. 炉物理についての理解を深めたい
 - c. 放射線についての理解を深めたい
 - d. 臨界について知りたい
 - e. 制御棒について知りたい
 - f. 中性子を測定してみたい
 - g. 原子炉を運転してみたい
 - h. ウラン燃料を触ってみたい
 - i. 原子炉の安全性について知りたい
 - j. 他大学の院生の人と交流をしたい
 - k. 単位が欲しい
 - l. 早く終わって欲しい
 - m. その他（なんでも結構です）

KUCA大学院生実験参加者アンケート（実験後）

1. 名前（無記名でも結構です）

2. この原子炉基礎実験に参加して良かったこと（いくつでも）

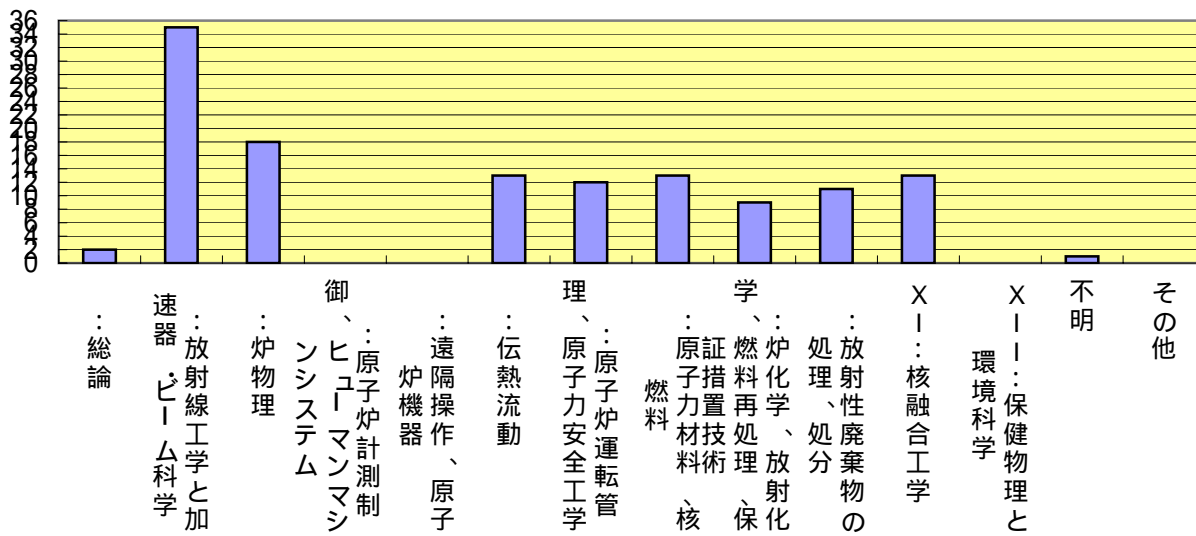
- | | |
|----------------------|--------------------|
| a. 原子炉についての理解が深まった | b. 炉物理についての理解が深まった |
| c. 放射線についての理解が深まった | d. 臨界についてわかった |
| e. 制御棒についてわかった | f. 中性子の測定がわかった |
| g. 原子炉を運転したこと | h. ウラン燃料を触ったこと |
| i. 原子炉の安全性についてわかった | j. 他研究室の学生と交流したこと |
| k. 単位がもらえそうなこと | l. 思ったより早く終わったこと |
| m. KUR でチェレンコフ光を見たこと | n. スクラムを見ることができたこと |
| o. その他（なんでも結構です） | |

3. この原子炉基礎実験に参加して良くなかったこと（いくつでも）

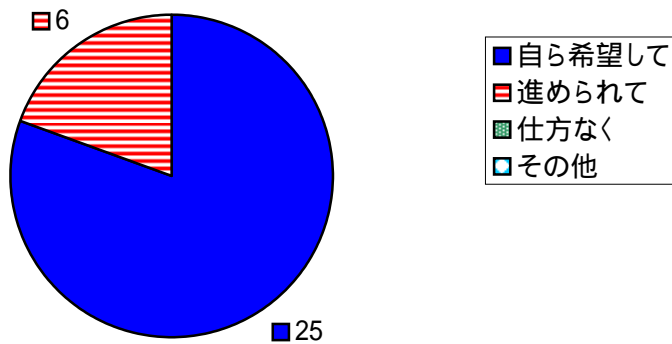
- | | |
|---------------------|---------------------|
| a. 原子炉についてもっと知りたかった | b. 炉物理についてもっと知りたかった |
| c. 放射線についてもっと知りたかった | d. 臨界についてもっと知りたかった |
| e. 制御棒についてもっと知りたかった | f. 中性子の測定をもっと知りたかった |
| g. 原子炉をもっと運転したかった | h. ウラン燃料をもっと触りたかった |
| i. 原子炉の安全性がわからなかった | j. 他研究室の学生と交流したこと |
| k. 興味がわかなかった | l. 実験期間が長い |
| m. その他（なんでも結構です） | |

2011年度 KUCA大学院生実験
 実験前アンケート結果(参加者:133名)

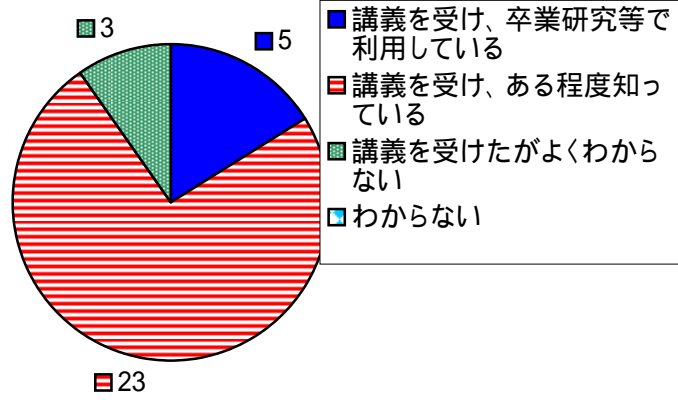
総集計:研究室(専門分野)



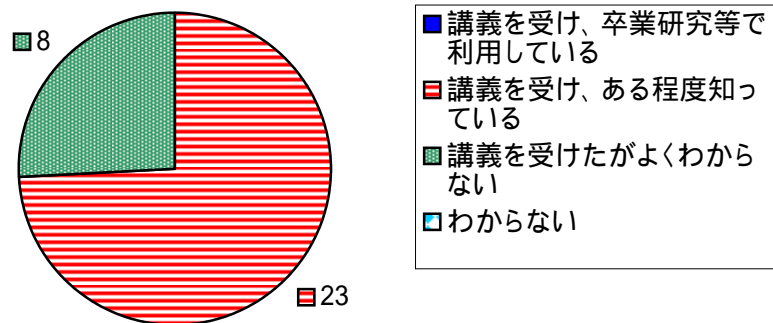
総集計:卒業学部研究室



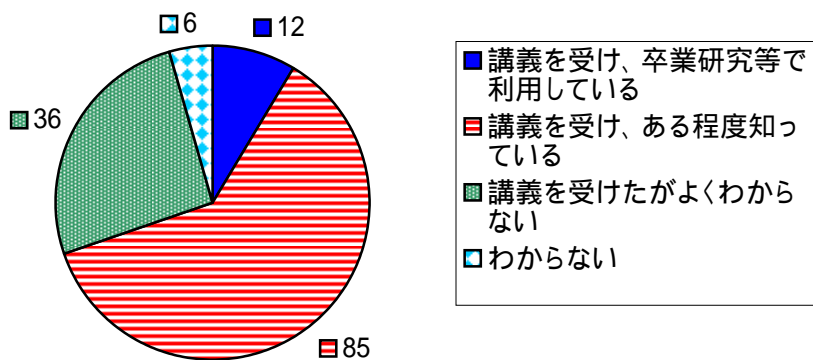
総集計: 参加理由



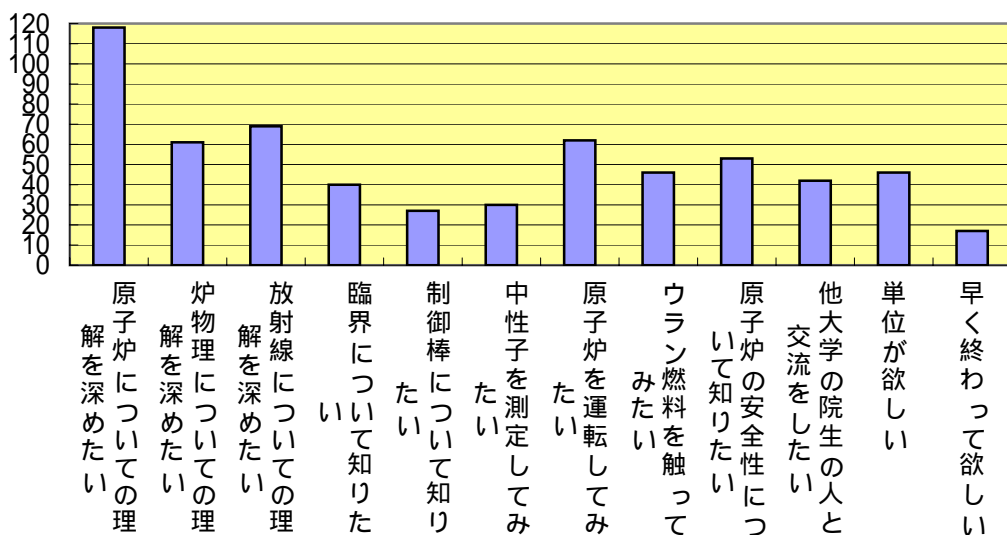
総集計: 放射線について



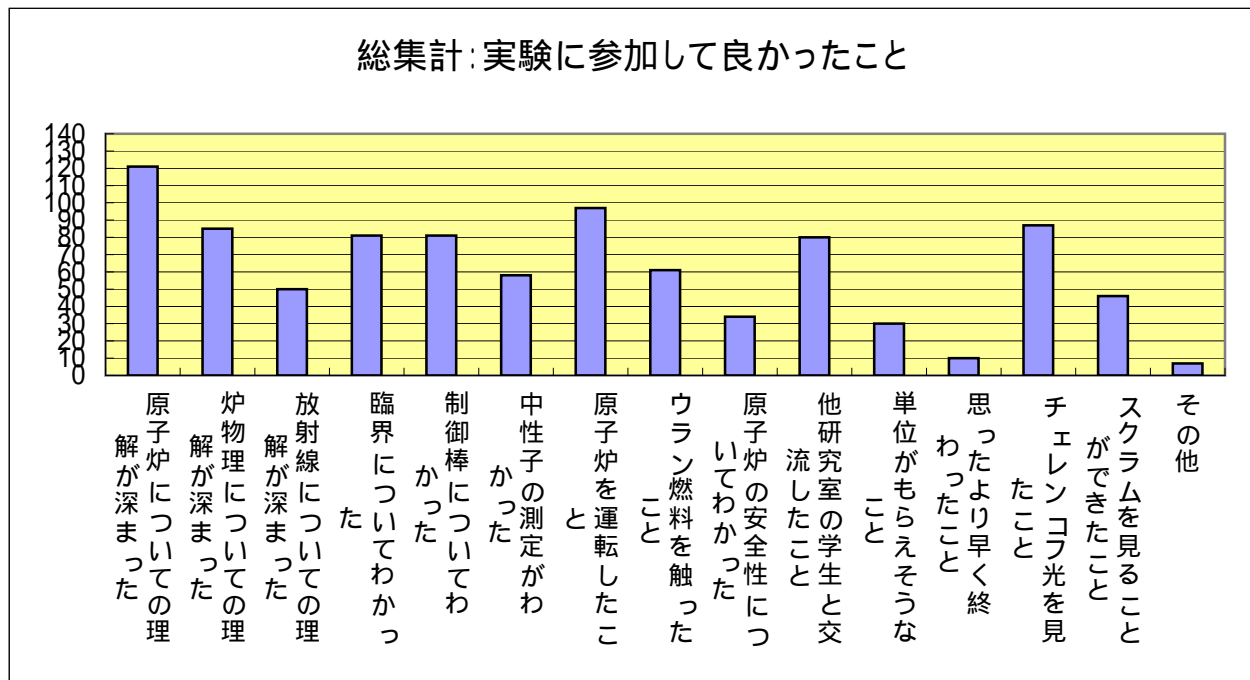
総集計: 炉物理について



総集計: 実験への期待

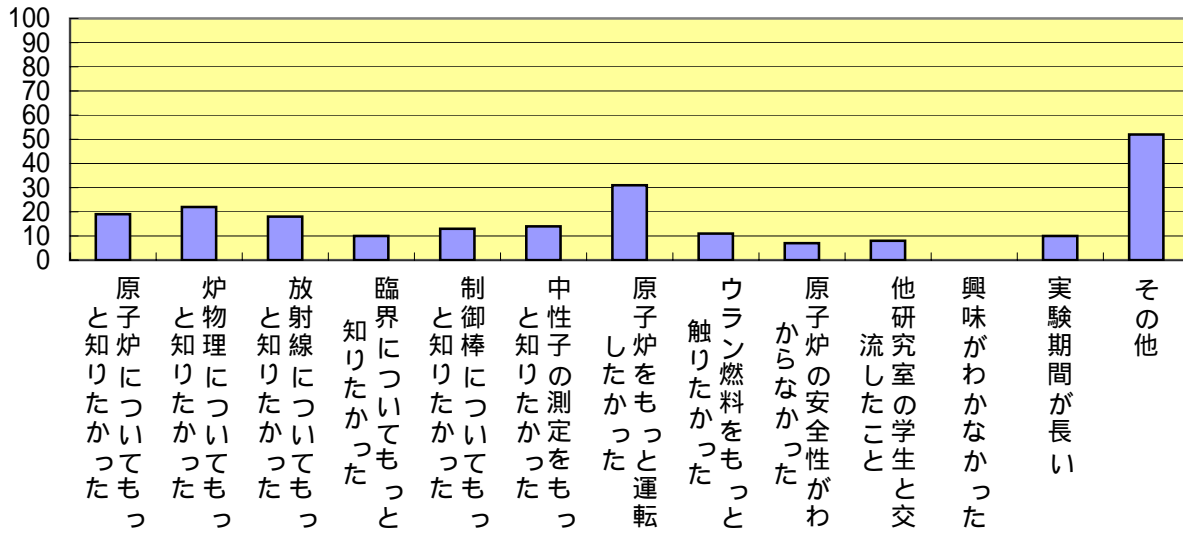


実験後アンケート結果(複数回答)



その他の項目: ベリウム の 価 値 が わ か っ た こ と
九州大学などの他大学の人達と夜おそくまで長時間かけて1つの課題に対して話せたことが良かった

総集計: 実験に参加して良くなかったこと



その他の項目:

宿舎の部屋(4人)はせまかった
 原発の社会的な問題に対する授業もあってほしかった
 時間が短く理解が十分でないまま参加したテーマに関して十分な整理ができなかった
 スケジュールが過密すぎる
 KURでチェレンコフ光を見れなかったこと
 ベーシック週も選択できるようにしてほしい
 大学毎に分けずに、もっと多大学での週にして欲しい
 データ整理に膨大な時間を用し、他の内容に手がまわらない
 体力的、精神的に過酷
 もっとじっくりと課題について班内あるいは他班とも議論したかった(課題が出てから翌日のレポート提出まで一晩議論したが、不十分だと感じた)
 議論してる際に、道しるべなどが無いため、議論が発散しがちになってしまったのが良くなかった
 制御棒校正で、測定値を記録している最中や、休憩時間に制御棒位置が変わっていたり、次の測定が始まったりして、少し戸惑った
 もう少し多めに時間をとった方が良かったと思った、等